

令和7年度 江戸川区立瑞江小学校 人権教育 年間指導計画（第1学年）

年間指導計画作成のための留意点 (東京都教育委員会発行『「人権教育プログラム(学校教育編)」p14 人権教育の年間指導計画(例)」を必ず参照し作成すること)

- 教科等の目標や内容を踏まえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科・読書科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、**個別的な視点からの取組を中心に**関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、互いに協力し合って学習に取り組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置付ける。

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
学級経営	学級目標に人権教育のねらいを位置づける。		学級の子どもたちの良いところを紹介する。		他の人の大切さを認めることを中心とした指導				互いの大切さを認めることを中心にした指導				
	児童相互の関係を把握する		児童相互で友達のよい行いを紹介しあう										
各教科・ 読書科	合科的指導 学校に親しみを感じ、友だちとの関わりを深めさせる。		生活科「たねをまこう」「せわをしよう」 あさがお、サツマイモなどを育て、金魚などを飼育することにより、動植物の成長の様子に関心をもたせる。 来年度の新1年生に、できた種のプレゼントを渡させる。				生活科「これからもつづけよう」 家の人と一緒に仕事や遊びをすることを通して、家族の温かさや大切に気付か			生活科「もうすぐ2年生」 新1年生を迎える準備をする中で、自分が身近な人に支えられて成長してきたことに気付かせる。			
	生活科「学校探検」 校内にある施設に興味を持ち、2年生と歩くことができる。						生活科「むしとなかよくしよう」 生き物に親しみ、それらの性質に気付き、生き物を大切にさせる。			図工「おもいでがいっぱい」 1年間の出来事を振り返り、新1年生に学校生活の楽しさを工夫して表現させる。			
	読書指導 読み聞かせや本の紹介をする。児童相互でおすすめの本を紹介させる。												
特別の教科 道徳	愛校心 よりよい学校生活や 集団生活を送ろうとする 心情を育てる。		礼儀 すずんで気持ちの良い 挨拶をしようとする実践 意欲と態度を育てる。		自然愛・動植物愛護 身近な自然に親しみ、 自然や動植物を守ろう とする心情を育てる。		生命尊重 生きていることの意味に気 付き、生命を大切にしよう とする心情を育てる。		思いやり・親切 互いに助け合おうとする心 情を育てる。		尊敬・感謝 感謝の気持ちを表そうとす る実践意欲と態度を育て る。	感謝 周りの人への感謝 の気持ちを持たせ る。	
特別活動	学級活動 自分や学級の目標を考えさせる。				学級活動 目標をふり 返させる。		学級活動 2 学期の目標を考えさ せる。		学級活動 「瑞小フェスタ」 友だちと仲よく参加 させる。		学級活動 目標をふり返さ せる。		
	1 年生を迎える会 1 年生として迎えらる。										学級活動 3 学期の目標を考え させる。		
その他	保護者会・家庭訪問 家庭からの連絡などから 一人ひとりの実態を把握 する。		ALT・・・外国人講師と交流し、簡単な会話やゲームで英語に親しむ。 「外国人」									6 年生を送る会 感謝の気持ちをもっ て、6 年生を送らせる。	
			学校公開 人権教育の視点に立った指導 の在り方について説明する。						ユニセフ募金 世界の子どものことについて関 心をもつ。「子ども」				

「 」=個別的な視点からの取組（末尾の「 」内は人権課題） ⇔=関連的な指導 =多様性を理解し、尊重し合う態度を育成することを重点とした指導。

令和7年度 江戸川区立瑞江小学校 人権教育 年間指導計画（第2学年）

年間指導計画作成のための留意点 （東京都教育委員会発行『人権教育プログラム（学校教育編）』p14 人権教育の年間指導計画（例）を必ず参照し作成すること）

- 教科等の目標や内容を踏まえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科・読書科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、個別的な視点からの取組を中心に関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、互いに協力し合って学習に取組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置付ける。

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	学級目標に人権教育のねらいを位置づける。		自分の大切さを認めることを中心とした指導		他の人の大切さを認めることを中心とした指導				互いの大切さを認めることを中心にした指導		
	児童相互の関係を把握する		児童相互で友達のよい行いを紹介しあう								
各教科・ 読書科	生活科「学校探検」 1年生との交流 下級生に親切にし、学校を案内させる。		生活科「生き物を育てよう」 ミニトマトやサツマイモなどを育てさせたり、生き物などを飼育させたりすることにより生き物の成長を知れるようにする。		生活科「町たんけん(2)」 地域の人から自分たちの住んでいる町のことをくわしく聞く機会を設ける。			生活科「あしたへジャンプ」 自分の成長を知り、周りの人たちへ感謝の気持ちをもたせる。			
			生活科「町たんけん(1)」 地域に興味をもち、テーマに沿っていろいろなものを見つけさせる。		生活科「ふれあい給食」 会食を通して、地域や祖父母との交流を深める。			クラスの友達のいいところを見つけ、伝える。			
	読書指導　読み聞かせや本の紹介をする。児童相互でおすすめの本を紹介させる。										
特別の教科　道徳	思いやり・親切 みんなとなかよくできるようにする。		礼儀 あいさつをきちんとさせる。		尊敬・感謝 自分たちを世話してくれる人たちに感謝できるようにする。		思いやり・親切 「電車の中で」を読んで、困っている人のことを思いやり、親切にしようとする意識を高める。		生命尊重 生命を大切にしようとする心情を育てる。		感謝 周りの人への感謝の気持ちを持たせる。
特別活動	学級活動「2年生になって」 自分や学級の目標を考えさせる。			学級活動 目標をふり返させる。		学級活動 2学期の目標を考えさせる。	学級活動 「瑞小フェスタ」 友だちと協力しながら活動させる。		学級活動 目標をふり返させる。	学級活動 3学期の目標を考えさせる。	
	入学式 1年生を迎えるための準備をさせる。										
その他	保護者会・家庭訪問 家庭からの連絡などから一人ひとりの実態を把握する。		学校公開 「心の教育についての講演」を行い、人権教育について説明する。					ユニセフ募金 世界の子どものことについて知り、関心をもたせる。		6年生を送る会 感謝の気持ちをもって、6年生を送らせる。	

「 」＝個別的な視点からの取組（末尾の「 」内は人権課題）

↔＝関連的な指導

＝多様性を理解し、尊重し合う態度を育成することを重点とした指導。

令和7年度 江戸川区立瑞江小学校 人権教育 年間指導計画（第3学年）

年間指導計画作成のための留意点（東京都教育委員会発行『『人権教育プログラム（学校教育編）』p14 人権教育の年間指導計画（例）』を必ず参照し作成すること）

- 教科等の目標や内容を踏まえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科・読書科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、**個別的な視点からの取組を中心に**関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、互いに協力し合って学習に取組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置付ける。

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	学級目標に人権教育のねらいを位置づける。		自分の大切さを認めることを中心とした指導		他の人の大切さを認めることを中心とした指導						
	児童相互の関係を把握する		帰りの会の中での、友達のよい行いなどの紹介								
各教科・ 読書科	進級期の指導 児童相互のかかわりを大切にする。		社会「町たんけんをしよう」 自分たちの過ごしてきた町を知ること、町の良さに気づかせる。		社会「わたしたちのくらしと安全」 商店や農家、工場で働く人と交流し、地域には様々な仕事があり、そのおかげで自分たちの生活が支えられていることに気づかせる。				国語「つたれる言葉で表そう」 気持ちや様子を詳しく相手に伝える力を育てる。		
	国語「よく聞いて、じこしょうかい」 自分のことを伝える力を身に付けさせる。		理科「こん虫の育て方」 生き物を育てる活動を通して、命の大切さに気づかせる。		保健「けんこうな生活」 毎日を健康に過ごすためには、どんな生活を送ればよいのかに気づかせる。				国語「モチモチの木」 他人のために行動する素晴らしさに気づかせる。		
特別の教科 道徳	信頼・友情 互いに信頼し合い、協力しようとする態度を育てる。	礼儀 いつもきちんと挨拶しようとする態度を育てる。	生命の尊重 生物を大切にし、生命を尊重する心情を育てる。	勤労・奉仕 働くことの大切さを知り、進んで働くこととする態度を育てる。	思いやり・親切 友達と仲良く助け合う気持ちを育てる。	郷土愛 地域のよさを発見し、郷土を大切にすることの態度を育てる。	勤労・奉仕 働くことの大切さを知り、進んで働くこととする態度を育てる。	公德心 社会の決まりを理解し、守ろうとする態度を育てる。	生命尊重 生物を大切にし、生命を尊重する心情を育てる。	信頼・友情 互いに信頼し合い、協力しようとする態度を育てる。	家族愛 家族を敬い、家族の一員として生活する態度を育てる。
総合的な 学習の時間	「見つけよう町のよさ」 地域にある寺や店、工場の方にインタビュー				オリンピック・パラリンピック調べ(五輪の意義、精神)				「学校の昔を調べよう」 地域の高齢者と交流し、高齢者の知恵から今の生活を考える。		
特別活動	クラスや自分のめあてをもたせる。	他学年と交流させる。		クラスや自分のめあてを振り返らせる。	2学期のめあてをもたせる。	友達と協力して、仲良く活動させる。	友達と協力して、仲良く活動させる。	クラスや自分のめあてを振り返らせる。	3学期のめあてをもたせる。	クラブ活動を見学させる。	3年生を振り返り4年生に向けて考えさせる。
その他	《保護者会 家庭訪問》 家庭からの連絡等から児童一人一人の実態を把握する。		学校公開 「心の教育についての講演」人権教育について説明する。					ユニセフ集会 世界の子どもの現状を知り、関心をもたせる。			《保護者会》 人権教育について認識を深める。

「 」＝個別的な視点からの取組（末尾の「 」内は人権課題）

⇔＝関連的な指導

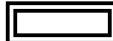
＝多様性を理解し、尊重し合う態度を育成することを重点とした指導。

令和7年度 江戸川区立瑞江小学校 人権教育 年間指導計画（第4学年）

年間指導計画作成のための留意点（東京都教育委員会発行『『人権教育プログラム（学校教育編）』p14 人権教育の年間指導計画（例）』を必ず参照し作成すること）

- 教科等の目標や内容を踏まえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科・読書科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、**個別的な視点からの取組を中心に**関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、互いに協力し合って学習に取り組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置付ける。

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	学級目標に人権教育のねらいを位置づける。		自分の大切さを認めることを中心とした指導		他の人を認めることを中心とした指導				互いの大切さを認めることを中心とした指導		
各教科・読書科	理科「春の生き物」 生命の尊さを育む		理科「夏の生き物」 生命の尊さを育む 国語「リーフレットで知らせよう」 自分の考えと理由や事例との関係を明確にして、感想や意見を伝える態度を身に付けさせる。		保健 「育ちゆくからだとわたし」 協力、公正な態度を育む。	国語 「ごんぎつね」 伝えあう力や想像力を育む。	理科「秋の生き物」 生命の尊さを育む。 国語「ウミガメの命をつなぐ」 伝え合う力や想像力を育む。		理科「冬の生き物」 生命の尊さを育む。	社会 「世界とつながる大田区」公正、公平な態度を育てる。	社会 「ゆたかな自然を守り生かす小笠原村」公正公平な態度を育てる。
特別の教科 道徳	信頼・友情 互いに信頼し合い、協力しようとする態度を育てる。	礼儀 いつもきちんと挨拶しようとする態度を育てる。	生命の尊重 生物を大切にし、生命を尊重する心情を育てる。	勤労・奉仕 働くことの大切さを知り、進んで働くこととする態度を育てる。	思いやり・親切 友達と仲良く助け合う気持ちを育てる。	郷土愛 地域のよさを発見し、郷土を大切にする態度を育てる。	勤労・奉仕 働くことの大切さを知り、進んで働くこととする態度を育てる。	公德心 社会の決まりを理解し、守ろうとする態度を育てる。	生命尊重 生物を大切にし、生命を尊重する心情を育てる。	信頼・友情 互いに信頼し合い、協力しようとする態度を育てる。	家族愛 家族を敬い、家族の一員として生活する態度を育てる。
総合的な学習の時間	「〇〇県の宣伝大使になろう」 自然環境、伝統や文化などの地域の資源を保護・活用している地域を取り上げる。							「自分を振り返って」 今までの自分のことを振り返り、これからの自分に活かす。			
特別活動	学級活動「4年生になって」自分や学級の目標を考え、計画を立てる。			学級活動 「自分のめあてを振り返ろう」	学級活動 「2学期のめあてを決めよう」	学級活動 「瑞小フェスタ」 友達と協力しながら仲良く活動する。	学級活動 「友達と協力して、仲良く活動しよう」	学級活動 「2学期のめあてを振り返ろう」	学級活動 「3学期のめあてを決めよう」	学級活動 「仲よし学級と交流しよう」	学級活動 「4年生を振り返り、すてきな5年生を目指そう」
その他	《保護者会 家庭訪問》 家庭からの連絡等から児童一人一人の実態を把握する。		学校公開 「心の教育についての講演」人権教育について説明する。					ユニセフ集会 世界の子どもの現状を知り、関心をもたせる。			《保護者会》 人権教育について認識を深める。

「 」＝個別的な視点からの取組（末尾の「 」内は人権課題）
＝関連的な指導
＝多様性を理解し、尊重し合う態度を育成することを重点とした指導。

令和7年度 江戸川区立瑞江学校 人権教育 年間指導計画（第5学年）

年間指導計画作成のための留意点（東京都教育委員会発行『「人権教育プログラム（学校教育編）」p14 人権教育の年間指導計画（例）」を必ず参照し作成すること）

- 教科等の目標や内容を踏まえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科・読書科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、**個別的な視点からの取組を中心に**関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、互いに協力し合って学習に取組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置付ける。

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
学級経営	自分の大切さを認めることを中心とした指導				他の人の大切さを認めることを中心にした指導				互いの大切さを認めることを中心にした指導			
各教科・ 読書科			体育科 保健領域 「心の健康」 心の発達と不安や悩みの対 処の仕方を理解させる。		理科 「人のたんじょ う」人の命の誕生 について知り、生 命を尊重させよ うとする態度を 身に付けさせる。			国語科 やなせたかし アンパンマンの勇氣 自分の考えを広げ、 深めさせる。		国語科 「想像のスイッチを入れよう」 理由や根拠を明らかにしながら 、意見文をまとめたり聞いたり する態度を身に付けさせる。		
	理科「メダカの飼育」生き物の飼育活動を通して、生命尊重の気持ちをもたせる。											
特別の教科 道徳	希望 最後までやり ぬこうとする 態度を育て る。	信頼、友情 互いに信頼し 合い協力しよ うとする態度 を育てる。	個性の伸長 自分らしさを 伸ばそうとす る態度を育て る。	生命の尊重 自他の命を大 切に守ってい こうとする態 度を育てる。		公德心 進んで公共の ためにつくそ うとする態度 を育てる。	思いやり 温かく親切に しようとする 態度を養う。	公正、公平正 義の実現に努 めようとする 態度を養う。	寛容、謙虚 広い心で相手 の立場を受け入 れようとする 態度を養う。	勤労、奉仕 公共のために 役に立とうと する態度を育 てる。	国際理解 国際親善に努 めようとする 態度を育て る。	
総合的な学 習の時間		「日本に住む外国の人について調べよう」日本に住む外国 人について知ることを通して、共存の精神を養う。					ウインタースクール お互いを尊重しながら生 活させる。					
特別活動	学級活動 学級目標を設定する課程 で一人ひとりを大切にす る学級を意識させる。	学級活動 思いやりの心をもって友達に接 する意識をもたせる。			学級活動「瑞小フェスタ」 友達と協力して活動する態度 を育てる。					学級活動 6年間をふり返りながら、協力し てよりよい生活を築こうとする ことの大切さを考えさせる。		
その他	縦割り班活動（年間）・スマイル遠足（5月） 班をまとめ、下学年のお世話をする。								ユニセフ募金 自らの可能な貢献について 考えさせる。			

「 」＝個別的な視点からの取組（末尾の「 」内は人権課題） ⇔＝関連的な指導 □＝多様性を理解し、尊重し合う態度を育成することを重点とした指導。

令和7年度 江戸川区立瑞江学校 人権教育 年間指導計画（第6学年）

年間指導計画作成のための留意点（東京都教育委員会発行『『人権教育プログラム（学校教育編）』p14 人権教育の年間指導計画（例）』を必ず参照し作成すること）

- 教科等の目標や内容を踏まえ、その単元や題材全体に関わる人権教育の視点を明確にした上で、指導計画に位置付ける。
- 普遍的な視点からの取組と個別的な視点からの取組を指導計画に位置付ける。
- 各教科・読書科、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間、特別活動等における内容について、**個別的な視点からの取組を中心に**関連を明確にする。
- 児童・生徒が主体的に学習活動に参加し、互いに協力し合って学習に取組めるよう、協力的、参加的、体験的な学習を位置付ける。

	4月	5月	6月	7月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学級経営	自分の大切さを認めることを中心とした指導				他の人の大切さを認めることを中心にした指導				互いの大切さを認めることを中心にした指導		
各教科・読書科	社会科 「わたしたちの暮らしと日本国憲法」 基本的人権の尊重を理解する。	理科 「生物どうしのかかわり」 生物のつながりについて興味・関心をもち、生物と環境についての考えをもつことができるようにする。			社会科 「身分とくらし」「蘭学の発達と腑分けの技術」 農民や町民よりも低い身分とされていた人々の優れた技術と社会への貢献を理解させる。	国語科 「ぼくの世界、きみの世界」自分を大切に。人との関わりを大切に。	社会科 「明治の国づくりを進めた人々」差別の解消を求める運動が起こったことを理解させる。			社会科 「日本と関係の深い国々」日本と関係の深い国々の生活や国際社会における我が国の役割を理解させる。	
特別の教科 道徳	希望 高い目標を立て困難があってもくじけずに努力しようとする心情を育てる。	友情・信頼 よりよい人間関係を築こうとする実践意欲と態度を育てる。	正直・誠実 自分の良心に従って生きることの大切さに気づき、誠実で明るい心で生きようとする心情を育てる。	個性の伸長 自分の特徴を知って長所を伸ばそうとする実践意欲と態度を育てる。		相互理解・寛容 広い心で自分と異なる意見や立場を尊重しようとする心情を育てる。	よりよく生きる喜び より良く生きようとする実践意欲と態度を育てる。	公正・公平、社会正義 差別したり偏見をもったりせず人間関係を築こうとする判断力を育てる。	生命の尊さ さまざまな人々とのつながりの中で支えられている命を大切にしようとする心情を育てる。	自由と責任 自律的で責任のある行動をすすんでしようとする判断力を育てる。	国際理解 国際親善に努めようとする態度を育てる。
総合的な学習の時間											
特別活動	学級活動 学級目標を設定する課程で一人ひとりを大切にす学級を意識させる。	学級活動 思いやりの心をもって友達に接する意識をもたせる。			学級活動「瑞小フェスタ」 友達と協力して活動する態度を育てる。					学級活動 6年間をふり振り返りながら、協力してよりよい生活を築こうとすることの大切さを考えさせる。	
その他	縦割り班活動（年間）・全校遠足（5月） 班をまとめ、下学年のお世話を。						日光移動教室 お互いを尊重しながら生活する態度を育てる。		ユニセフ募金 自らの可能な貢献について考えさせる。		

「 」＝個別的な視点からの取組（末尾の「 」内は人権課題） ⇔＝関連的な指導 ＝多様性を理解し、尊重し合う態度を育成することを重点とした指導。